

2022年度

## 第40回 インテリアコーディネーター資格試験

### 一次試験（学科試験）問題用紙

試験日：2022年10月9日

試験時間：12：30～15：10（160分）

試験問題数：全50問

#### （試験上の注意）

1. 受験票と写真票は、あらかじめ受験番号記載面を外にしてそれぞれ三つ折りにし、受験番号記載面を上にして机上（原則として通路側）に置いてください。
2. 最初に問題用紙（1部）、解答用紙（1枚）があることを確かめ、不足があれば速やかに手をあげて試験監督員に申し出てください。
3. 問題用紙は試験開始の合図があるまで開かないでください。
4. 解答用紙の注意事項を読んで、氏名（フリガナ、漢字）、受験番号、性別、生年月日を必ず記入およびマークしてください。  
※解答用紙提出前に、マークのぬり間違いが無いかを再度ご確認ください。（特に受験番号）
5. 試験中は筆記用具以外（例えば携帯電話、電卓、参考書など）のものは使用を禁止します。
6. 解答用紙は、鉛筆またはシャープペンシル（BまたはHB）で記入してください（万年筆、ボールペンは不可）。
7. 試験問題の内容に関する質問については、誤植の確認以外の一切にお答え致しません。乱丁落丁があれば、手をあげて試験監督員に申し出てください。
8. 試験開始から90分以内および試験終了5分前以降は退室を禁止します。退出可能時間内に退出される方は手をあげて合図をし、解答用紙を試験監督員に手渡して、静かに退室してください。
9. 問題用紙は持ち帰ってください。
10. この試験問題を無断で転載、複写複製（コピー）または販売することは、著作権法により禁じられています。

公益社団法人 インテリア産業協会

第1問 インテリアへの意識に関する次の記述の  部分に、下に記した語群の中から最も適当なものを選んで、解答欄の番号にマークしなさい。

住宅の大量供給が始まった  ア 年代に、「公室と私室の分離」の理念の下に  イ を取り入れた新しい間取りが実現した。

その公室に  ウ が、私室に  エ が加えられ、住宅の型が定着し現在に至っている。使用目的によって分化された各室ごとにインテリアが整えられることになったきっかけである。

- |        |              |           |            |
|--------|--------------|-----------|------------|
| 【アの語群】 | 1. 1930      | 2. 1950   | 3. 1970    |
| 【イの語群】 | 1. ダイニングキッチン | 2. いす座    | 3. 和洋折衷    |
| 【ウの語群】 | 1. 書斎        | 2. リビング   | 3. ユーティリティ |
| 【エの語群】 | 1. 寝室        | 2. クローゼット | 3. バスルーム   |

第2問 インテリアコーディネーターの社会的役割に関する次の記述の  部分に、下に記した語群の中から最も適当なものを選んで、解答欄の番号にマークしなさい。

今日、社会状況の変化に伴って、インテリアコーディネーターの専門性を活かせる場面が広がってきており、インテリア文化の醸成とインテリア環境の  ア に資する人材が求められている。地球環境は人々の生活と密接な関係があり、 イ 社会を目指して、環境意識に働きかける役割も期待されている。2009年から始まった長期優良住宅認定制度の認定基準には、 ウ や劣化対策などとともに、共同住宅におけるインテリアの  エ が設定されており、これは居住者の要望や間取りの多様性に対応できるよう措置を講じることである。

- |        |            |          |           |
|--------|------------|----------|-----------|
| 【アの語群】 | 1. 質的向上    | 2. 生産性向上 | 3. デジタル化  |
| 【イの語群】 | 1. サステイナブル | 2. グローバル | 3. バリアフリー |
| 【ウの語群】 | 1. 費用対効果   | 2. 審美性   | 3. 耐震性    |
| 【エの語群】 | 1. リサイクル性  | 2. 可変性   | 3. 回遊性    |

第3問 インテリアコーディネーターの実務に関する次の記述の  部分に、それぞれの語群の中から最も適当なものを選んで、解答欄の番号にマークしなさい。

- 1 依頼主が外国のカーテンカタログやサンプル帳から製品を候補として選択した時に、インテリアコーディネーターとして至急に行うべき作業は  ア  である。

【語 群】 1. 納期の確認  
2. インテリアバランスの確認  
3. イメージスケッチの作画

- 2 リビングのレイアウトは導入予定の家具と部屋の入り口や開口部の位置関係を踏まえ  イ  のシミュレーションをしながら検証することが大切である。

【語 群】 1. 家具寸法 2. 建築プラン 3. 生活動線

- 3 壁面収納家具や照明器具（ペンダントやブラケットなど）は、 ウ  で高さ方向のバランスも検討することが大切である。

【語 群】 1. 矩計図 2. 天井伏図 3. インテリア立・断面図

- 4 依頼主から頼まれたオリジナルの家具を提案する表現方法には、三面図以外に依頼主に実際の視覚的イメージに近い表現で、家具の製作現場でも使われる  エ  がある。

【語 群】 1. カバリエ図法 2. キャビネット図法 3. アイソメトリック図法

第4問 日本における建築・インテリアの歴史に関する次のア～エの記述に対して、それぞれの下に記した語群の中から最も適当なものを選んで、解答欄の番号にマークしなさい。

- ア 19世紀後半に来日して、鹿鳴館や岩崎邸など多くの建物を設計したイギリスの建築家

【語 群】 1. エドワード・モース  
2. バーナード・リーチ  
3. ジョサイア・コンドル

- イ アントニン・レーモンドのもとでデザインを学び、単純でのびやかな新日本風とでもいうべき住空間を造った建築家

【語 群】 1. 池辺陽 2. 山口文象 3. 吉村順三

- ウ 帝国ホテルの設計において、大谷石を使った独特な造形を試みた建築家

【語 群】 1. ヴァルター・グロピウス  
2. フランク・ロイド・ライト  
3. フィリップ・スタルク

- エ アーツ・アンド・クラフツ運動に共鳴し、用の美という考えに基づいた民芸運動の主唱者

【語 群】 1. 柳宗理 2. 柳宗悦 3. 柳田国男

第5問 いすの歴史に関する次のア～エの記述に対して、それぞれの下に記した語群の中から最も適当なものを選んで、解答欄の番号にマークしなさい。

ア クリスモスと呼ばれるいすが作られたといわれる時代（図1参照）

- 【語 群】
1. ゴシック
  2. ビザンチン
  3. 古代ギリシャ



図1

イ カクトワールと呼ばれる、スカートを着用した女性用のいすの様式名（図2参照）

- 【語 群】
1. ロマネスク
  2. ルネサンス
  3. イスラム

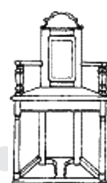


図2

ウ カブリオールと呼ばれる形状の脚を持ついすの様式名（図3参照）

- 【語 群】
1. バロック
  2. アンピール
  3. ロココ



図3

エ 18世紀末から19世紀中期にかけてアメリカで作られたいすの様式名（図4参照）

- 【語 群】
1. ジョージアン
  2. シェーカー
  3. ジャコビアン



図4



第6問 家具や設備機器の人間工学に関する次のア～エの記述に対して、それぞれの下に記した語群の中から最も適当なものを選んで、解答欄の番号にマークしなさい。

ア 「ひと」や「もの」との関わり方の違いから分類した場合、準人体系家具に属する家具

【語 群】 1. ハイスツール 2. バーカウンター 3. リクライニングチェア

イ 背もたれのないいすに腰かけたとき、全体重の中で座面が受ける力の割合

【語 群】 1. 55% 2. 70% 3. 85%

ウ 自然な寝返りの範囲を考慮した場合の布団やマットレスの幅の目安

【語 群】 1. 肩幅の1.3～1.5倍 2. 肩幅の1.6～1.8倍 3. 肩幅の2.0～2.5倍

エ キッチンの機器類の適切な配置を計画するための「作業の三角形 (work triangle)」を構成する要素

【語 群】 1. シンク・レンジ (加熱調理器)・食器棚  
2. シンク・レンジ (加熱調理器)・冷蔵庫  
3. シンク・食器棚・冷蔵庫

第7問 人間工学に関する次の記述の  部分に、下に記した語群の中から最も適当なものを選んで、解答欄の番号にマークしなさい。

建築設計や空間設計、製品のデザイン時において、あらかじめ、障害の有無、年齢、性別、人種等にかかわらず多様な人々が利用しやすいよう生活環境をデザインしていくとの考え方がある。この考え方は  ア  と呼ばれ、アメリカの建築家であり、自身も車いすを使用していた  イ  により提唱された。

また、(イ) が中心となり、(ア) の考え方を具体化した  ウ  を提唱し、(ア) の普及に努力した。この原則の中には、「  エ  」がうたわれている。

【アの語群】 1. ユニバーサルデザイン  
2. ノーマライゼーション  
3. エモーショナルデザイン

【イの語群】 1. ワルター・グロピウス  
2. ロナルド・メイス  
3. ルイス・カーン

【ウの語群】 1. 3原則 2. 5原則 3. 7原則

【エの語群】 1. 持続可能な社会を構築すること  
2. だれでも公平に利用できること  
3. すべての人々に水と衛生を確保すること

第8問 人体やインテリアエレメントの寸法に関する次の1～5の記述のうち、最も不適当なものを2つ選んで解答欄の番号にマークしなさい。(1行に2つの番号をマークしないこと)

- 1 ドアノブの一般的な高さ < 一般的な洗面化粧台の洗面器の高さ < バルコニーの手すりの法規上の最低高さ
- 2 下腿高 < 指先点高 < 座高
- 3 ダイニングテーブルの高さ < キッチン調理台の高さ < 玄関ドアスコープの高さ
- 4 本棚の奥行 < 1列型キッチンの調理台の奥行 < ダイニングテーブル(4人用)の奥行
- 5 江戸間の畳の大きさ < 京間の畳の大きさ < 中京間の畳の大きさ

第9問 建物のプロポーションなどに関する次の記述の  部分に、それぞれの語群の中から最も適当なものを選んで、解答欄の番号にマークしなさい。

- 1 古代ギリシャでは、神殿の各部の寸法を  ア  を基準にして決めた。  
【語群】 1. 柱の頂部の直径      2. 柱の高さ      3. 柱の基部の直径
- 2 伝統的な日本建築では、室内の各部の寸法を柱の太さなどを基準にして決めた。これを  イ  と呼ぶ。  
【語群】 1. 木割り      2. 木取り      3. 木拾い
- 3 建築家のル・コルビュジエは、人体寸法のプロポーションを応用した独自の尺度を考案して建築デザインに用いたが、これを  ウ  と呼ぶ。  
【語群】 1. モジュール      2. オーダー      3. モデュロール
- 4 美しいプロポーションとされる黄金比の長方形における短辺と長辺の比率は、約  エ  である。  
【語群】 1. 1 : 1.414      2. 1 : 1.618      3. 1 : 1.732

第10問 色彩に関する次の記述の  部分に、それぞれの語群の中から最も適当なものを選んで、解答欄の番号にマークしなさい。

- 1 可視光線の波長の範囲は380～780nm（ナノメートル）で、その中で最も波長の短い色は  ア   
 である。

【語 群】 1. 青 2. 紫 3. 赤

- 2 面積が小さなカラーサンプルの色は、面積を大きくして見ると  イ 見える。

【語 群】 1. 明度は高く、彩度は低く

2. 明度は低く、彩度は高く

3. 明度、彩度が共に高く

- 3 青色のドアを見た後に白い壁を見ると、補色の赤色系の残像が見える。この現象を  ウ 対比   
 という。

【語 群】 1. 継時 2. 同時 3. 面積

- 4 2色以上の色を塗り分けたコマや回転板を回したとき、また、織物や編物などの異なる細かい色   
 が並んだ時に見られる混色を  エ 混色と呼んでいる。

【語 群】 1. 減法 2. 中間 3. 加法

第11問 住宅の性能に関する次の記述の  部分に、それぞれの語群の中から最も適当なものを選んで、解答欄の番号にマークしなさい。

- 1 住宅性能表示制度は、 ア に基づいてできた制度の1つである。

【語 群】 1. 住生活基本法 2. 製造物責任法 3. 品確法（略称）

- 2 壁などを透過する音を減らすための遮音性能は、 イ で表記される。

【語 群】 1. 透過損失 2. 回折減衰 3. 距離減衰

- 3 「LL-45」や「LH-50」で表示される性能は、衝撃音に対する  ウ の遮音性能をあらわす。

【語 群】 1. 壁 2. 床 3. 天井

- 4 太陽光発電の導入時にかかる費用は、 エ である。

【語 群】 1. イニシャルコスト

2. ランニングコスト

3. ライフサイクルコスト

第12問 加齢による身体機能の低下に関する次の記述の  部分に、それぞれの語群の中から最も適当なものを選んで、解答欄の番号にマークしなさい。

1 玄関の土間と床との段差が180mm を超える場合には、 ア  を設置することが望ましい。

【語 群】 1. 踊場 2. 敷居 3. 式台

2 階段に設ける手すりは、 イ  から手すりの上面までの高さが750mm 前後になるのが望ましい。

【語 群】 1. 段鼻 2. 上り框 3. 野縁

3 視覚機能の低下により、視界は  ウ  がかって見えてくる。

【語 群】 1. 青み 2. 赤み 3. 黄み

4 聴覚機能の低下とともに、小さい音や  エ  音域の音が聞きづらくなってくる。

【語 群】 1. 高 2. 中 3. 低



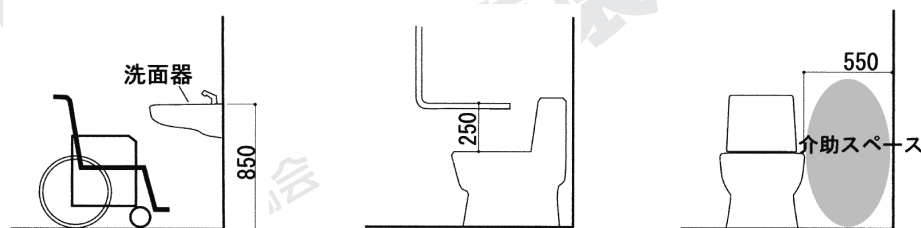
第13問 インテリア計画に関する次のア～エの記述に対して、それぞれの下に記した語群または図群の中から最も不適当なものを選んで、解答欄の番号にマークしなさい。

ア サニタリーと呼ばれる空間

- 【語 群】 1. トイレ 2. キッチン 3. 浴室

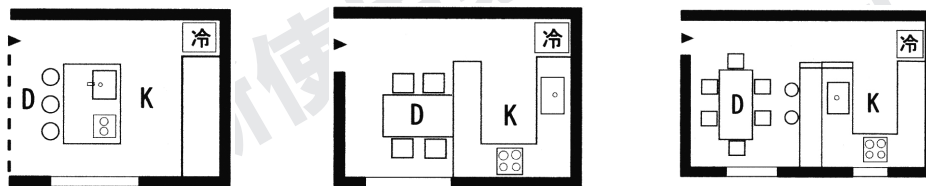
イ 高齢者の使用を考慮した水回りの寸法

- 【図 群】 1. 2. 3.



ウ 座面高400mmの食事用のいすが使える食事空間

- 【図 群】 1. 2. 3.



エ 収納棚のおおよその奥行寸法

- 【語 群】 1. 小物棚・化粧棚 15cm 程度  
2. 食器棚 35cm 程度  
3. 洋服ダンス・クローゼット 40cm 程度

第14問 リフォーム計画に関する次の記述の  部分に、それぞれの語群の中から最も適当なものを選んで、解答欄の番号にマークしなさい。

- 1 住宅は年数を経るにつれ老朽化していくので、修繕や改修が必要になる。修繕をすることにより、住宅の  ア  に近づけることができる。

【語 群】 1. 耐用年数 2. 最低性能 3. 初期性能

- 2 分譲マンションでは、「建物の区分所有等に関する法律」によって一般にリフォーム可能な範囲は  イ  とされているので、注意が必要である。

【語 群】 1. 専有部分 2. 共用部分 3. 専用使用部分

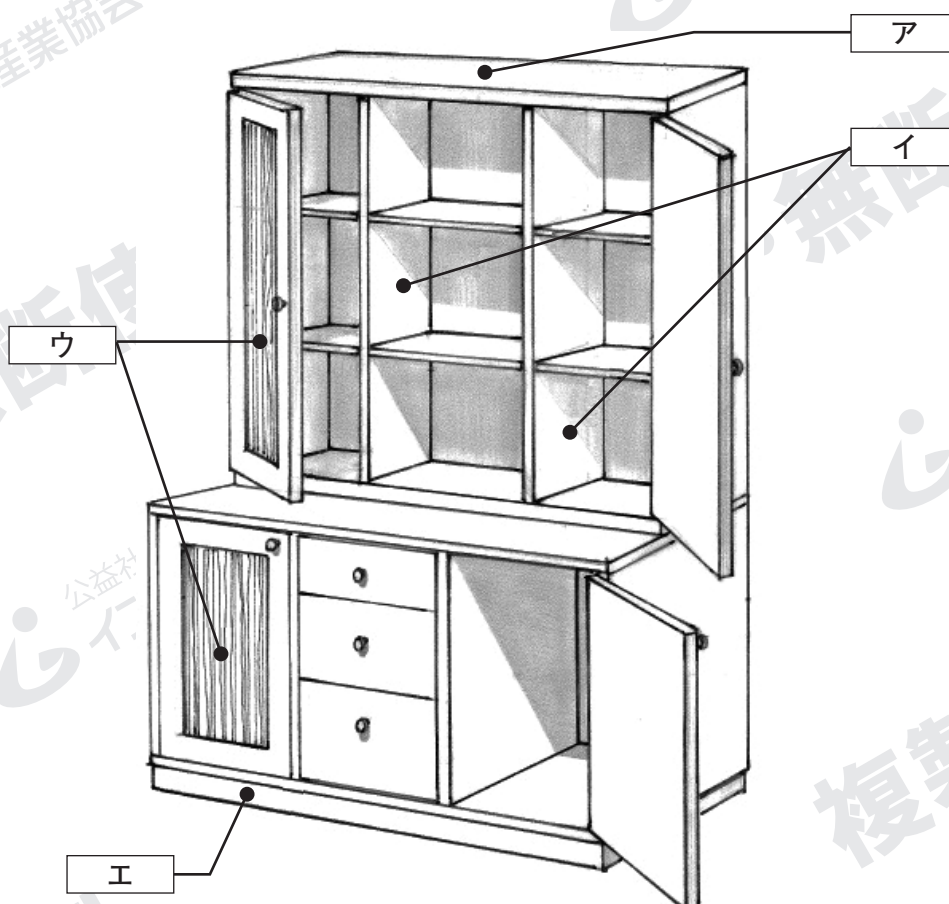
- 3 戸建て住宅をリフォームする目的の一つに、できる限り住宅の省エネルギーを実現した上で、再生可能エネルギーを導入することにより、年間の一次エネルギー消費量の収支ゼロを目指した  ウ  化がある。

【語 群】 1. UD 2. ZEH 3. CLT

- 4 リフォームは、建物等を作っては壊すという社会から、よい建物をつくり、適切な手入れをして長く大切に使う  エ  に転換しつつある中で重要な位置づけにある。

【語 群】 1. ストック型社会 2. フロー型社会 3. 分散型社会

第15問 次の住宅用家具の図中のア～エの各部分について、それぞれの語群の中から最も  
適当なものを選んで、解答欄の番号にマークしなさい。



- |        |        |       |       |
|--------|--------|-------|-------|
| 【アの語群】 | 1. 天板  | 2. 甲板 | 3. 先板 |
| 【イの語群】 | 1. 方立板 | 2. 側板 | 3. 向板 |
| 【ウの語群】 | 1. 縁甲板 | 2. 額縁 | 3. 鏡板 |
| 【エの語群】 | 1. 台輪  | 2. 幅木 | 3. 前板 |

第16問 家具に関する次のア～エの記述に対して、それぞれの下に記した語群の中から最も適当なものを選んで、解答欄の番号にマークしなさい。

ア ベッドの弾性ボトムの種類

- 【語 群】
1. スネークスプリング
  2. ウッドスプリング
  3. セットスプリング

イ ダイニングテーブルの構造部材

- 【語 群】
1. 幕板
  2. 向板
  3. 笠木

ウ 無垢材甲板の接合方法

- 【語 群】
1. 単板練付け
  2. 雇い実矧ぎ（やといざねはぎ）
  3. 框組み

エ 事務用回転いすの部品

- 【語 群】
1. ボンネルコイル
  2. ウェビングテープ
  3. ガススプリング



第17問 家具や扉に使われる金物などに関する次のア～エの記述に対して、それぞれの下に記した語群の中から最も適切なものを選んで、解答欄の番号にマークしなさい。

ア 扉の引き戸で用いられる受け座にデッドボルトを回転させながら引っ掛けて施錠する錠前（図1参照）

- 【語 群】
1. 面付錠
  2. 鎌錠
  3. はかま錠

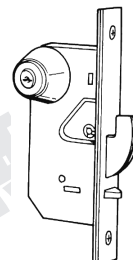


図1

イ 内開き・外開きなど、左右どちらにも180度ずつ開く丁番（図2参照）

- 【語 群】
1. 旗丁番
  2. アングル丁番
  3. 屏風丁番

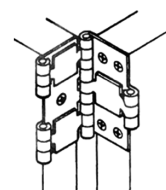


図2

ウ 開いた扉をスライドして内側に収納することで開放状態を保ち、スペース効率を高める仕組み（図3参照）

- 【語 群】
1. フリップパードア
  2. フラップステー
  3. リニアベアリング

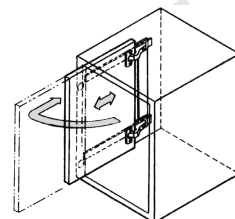


図3

エ ライティングデスク等の扉に重量がかかる場合や、中にホコリが入るのを防ぐ場合などに使用される丁番（図4参照）

- 【語 群】
1. ピアノ丁番
  2. スライド丁番
  3. ピボット丁番



図4

第18問 家具の材種別の手入れ方法に関する次の記述の  部分に、それぞれの語群の中から最も適当なものを選んで、解答欄の番号にマークしなさい。

1 合成皮革のソファーについての手垢や油污れは  ア で布拭きして、よく水拭きする。

【語 群】 1. 塩素系洗剤液 2. 中性洗剤液 3. 艶出しクリーナー

2 天然大理石のテーブルの手入れは、 イ ワックスを塗り込み、乾拭きする。

【語 群】 1. アルカリ性 2. 酸性 3. 油性

3 天然皮革の椅子にカビが生じた時は、殺菌する為に希釈した  ウ を湿した布で拭き、水拭きのあと布で乾拭きする。

【語 群】 1. 無水エタノール 2. 逆性石鹼液 3. ポリッシュ剤液

4 籐（ラタン）家具の手入れは柔らかい布で乾拭きする、手垢などの汚れは  エ で落とすことができる。

【語 群】 1. 家具用ワックス 2. 水拭き 3. ベンジン

第19問 家具に使われる樹脂（プラスチック）材料に関する次のア～エの記述に対して、それぞれの下に記した語群の中から最も適当なものを選んで、解答欄の番号にマークしなさい。

ア 合板にオーバーレイした化粧板として、収納家具の棚板などに使われる樹脂

【語 群】 1. ポリカーボネート  
2. 不飽和ポリエステル  
3. アクリル

イ 紙に含浸させ積層加圧した硬度が高い化粧板として、テーブルの表面材などに使われる樹脂

【語 群】 1. ABS 2. 塩化ビニル 3. メラミン

ウ 軽く（水に浮く）、耐候性に優れブロー成型のガーデンテーブルやチェアなどに使われる樹脂

【語 群】 1. フェノール 2. ポリエチレン 3. ポリアセタール

エ 一般にはナイロンと呼ばれ、耐衝撃性に優れOAチェアのキャスター（車輪）などに使われる樹脂

【語 群】 1. ポリアミド 2. ポリウレタン 3. エンプラ

第20問 造作部材に関する次のア～エの記述に対して、それぞれの下に記した語群の中から最も適当なものを選んで、解答欄の番号にマークしなさい。

ア 襖や障子を滑らせるための上下を挟み込む構造のうち上側の部材

【語 群】 1. 長押 2. 敷居 3. 鴨居

イ 回り縁に固定され、天井板を下から支える細長い部材

【語 群】 1. 吊り木 2. 野縁 3. 竿縁

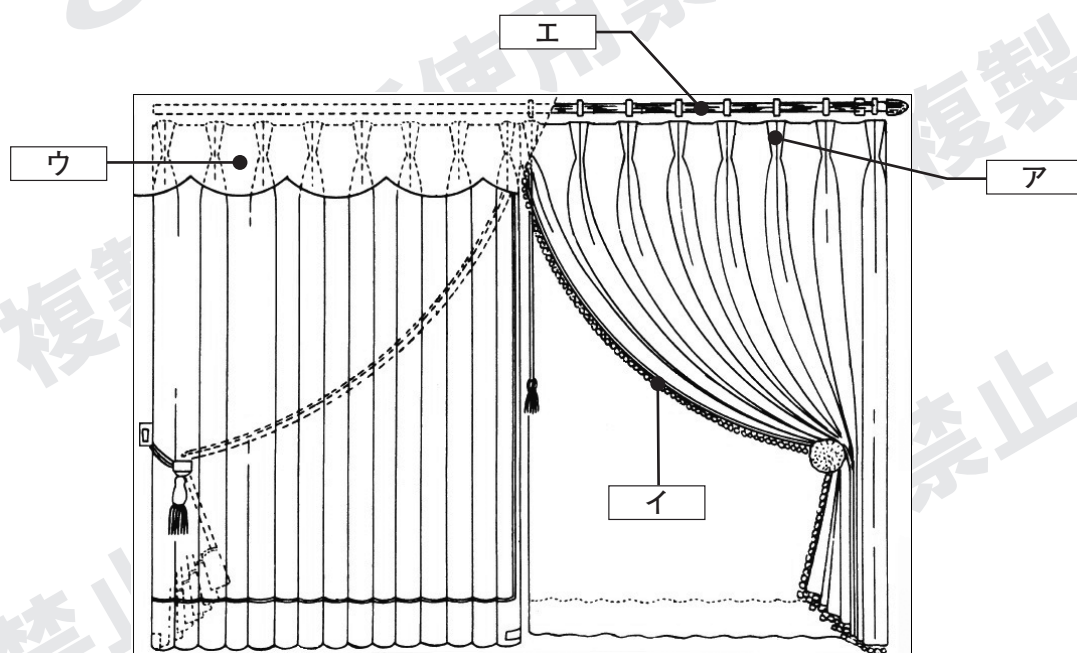
ウ 通気性や解放感が特徴で、踏み板が2枚の桁材に乗って支えられる構造の階段

【語 群】 1. ささら桁階段 2. 側桁階段 3. 力桁階段

エ バラストとも呼ばれ、笠木を支える柱状の部材

【語 群】 1. 胴縁 2. 上段框 3. 手すり子

第21問 カーテン各部の呼称を示した次の図中のア～エの各部分について、それぞれの語群の中から最も適当なものを選んで、解答欄の番号にマークしなさい。



カーテン各部の呼称

【アの語群】 1. ピンチブリーツ 2. ロッドポケット 3. ハイギャザー

【イの語群】 1. ウェイトテープ 2. ブレード 3. トリム

【ウの語群】 1. バランス 2. スワッグ 3. スカラップ

【エの語群】 1. 装飾レール 2. ボックスレール 3. バランスレール

第22問 カーテンの縫製加工に必要な採寸箇所と要尺に関する次のア～エの記述に対して、それぞれの下に記した語群の中から最も適当なものを選んで、解答欄の番号にマークしなさい。

ア 既存のカーテンレールを使う場合の幅寸法（図1参照）

- 【語 群】
1. 両端のランナー間（最大幅）
  2. キャップストップのリング間
  3. キャップストップの両端間

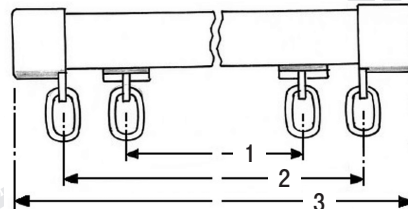


図1

イ 既存のカーテンレールを使う場合の高さ寸法（図2参照）

- 【語 群】
1. ポールの上端から床まで
  2. ポールの中心から床まで
  3. リングの坎の内円（下端）から床まで

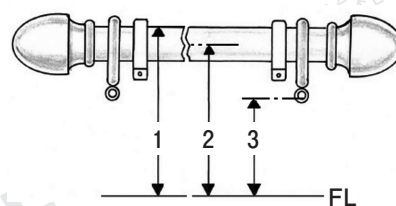


図2

ウ 片ひだの仕上げ幅（間口）に対する必要生地幅（図3参照）

- 【語 群】
1. 2倍
  2. 3倍
  3. 4倍

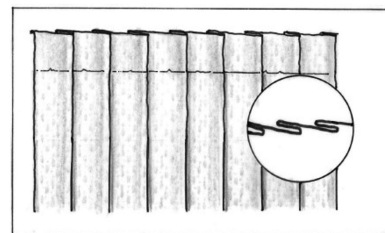


図3

エ ボックスプリーツの仕上げ幅（間口）に対する必要生地幅（図4参照）

- 【語 群】
1. 2.5倍
  2. 3.5倍
  3. 4.5倍

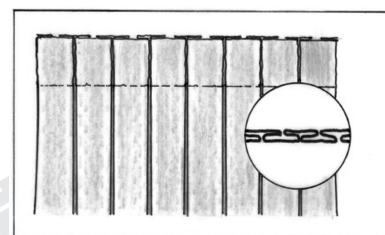


図4



第23問 カーペットに関する次の記述の  部分に、それぞれの語群の中から最も適切なものを選んで、解答欄の番号にマークしなさい。

- 1 手織りカーペットの一種である  ア は、基布のたて糸1本1本に、パイルを手で絡ませて結びつけ、カットしながら織っていく。量産できず、高価な美術工芸品の意味合いが強い。

【語 群】 1. プレデッドマット 2. 三笠織 3. 緞通

- 2 機械織りカーペットの一種である  イ は、18世紀半ばの英国発祥で、19世紀に入りジャガード自動柄出し装置をつけて、2～5色使いの柄物ができるようになった。

【語 群】 1. ウィルトン 2. ラッセル 3. スプール

- 3 機械織りカーペットの一種である  ウ は、多色使いが可能で、花柄、モザイク柄などの複雑な柄の高級カーペットとしてホテルの宴会場などで使用される。

【語 群】 1. ダブルフェイス 2. フックドラグ 3. アキスミンスター

- 4 刺繍カーペットの一種である  エ は、20世紀にアメリカで開発され、従来の織りカーペットに比べ大量生産が可能になり、カーペットの普及に貢献した。

【語 群】 1. ボンデッド 2. ニードルパンチ 3. タフテッド

第24問 インテリアオーナメント・アートの壁面取付けに関する次の記述の  部分に、それぞれの語群の中から最も適切なものを選んで、解答欄の番号にマークしなさい。

- 1 コンクリート壁に直接フックを固定する場合は、壁にドリルで穴を開け  ア を打ち込み、そこにねじでフックを固定する。

【語 群】 1. カールプラグ 2. タッピングビス 3. ソケット

- 2 化粧合板の壁に比較的軽いものを取り付ける場合は、壁面に対して斜め上からピンを打ち込むので抜けにくい  イ がある。

【語 群】 1. フィッシャープラグ  
2. 二重釘  
3. X（エックス）フック

- 3 プラスターボードの壁にフックを取り付ける場合、ボードの裏側で先端が傘状に開き固定できる  ウ を使用する。

【語 群】 1. ジベル 2. 逆目釘 3. ボードアンカー

- 4 額などを頻繁に移動したり、掛け替えたりする場合にはピクチャーレールがよい。そこから吊り下げた  エ に付けられた金具が上下左右に移動でき、位置を簡単に決められる。

【語 群】 1. ワイヤー 2. アンカープレート 3. フックボルト



第25問 日本庭園に関する次の記述の  部分に、下に記した語群の中から最も適切なものを選んで、解答欄の番号にマークしなさい。

古くから日本の庭は、木・石・  ア  といった自然の要素を利用して、天然の植生や生体に見立てて構成されてきた。日本庭園の造園技法のひとつに建物の内と外との  イ  をもたせる意図でつくられてきたものがある。

茶の湯の文化の影響を受けた茶庭は  ウ  と呼ばれ、石で帯状に舗装した  エ  や飛び石、手を清めるための蹲踞（つくばい）などが置かれることで、より日本らしさが演出される。

- |        |             |             |            |
|--------|-------------|-------------|------------|
| 【アの語群】 | 1. 光        | 2. 土        | 3. 水       |
| 【イの語群】 | 1. 対比感      | 2. 連続性      | 3. 明度差     |
| 【ウの語群】 | 1. 園路       | 2. 露地       | 3. 池泉      |
| 【エの語群】 | 1. 築山（つきやま） | 2. 延段（のべだん） | 3. 築地（ついじ） |

第26問 床の構法に関する次の記述の  部分に、それぞれの語群の中から最も適切なものを選んで、解答欄の番号にマークしなさい。

1 木構造の床の下地は、近年では  ア  を省略し、直接、大引や梁材に厚い合板を留めつけ、強固にするものが多く見られる。

- 【語 群】 1. スタッド 2. 根太 3. 垂木

2 鉄骨造の床の下地は、鉄骨の梁間に  イ  を渡し、コンクリート打ちの下地とするものが多い。

- 【語 群】 1. ラスボード 2. 木毛セメント板 3. デッキプレート

3 伝統的木造構法の建物では、 ウ  の床を三和土とすることがある。

- 【語 群】 1. 通り庭 2. 縁側 3. 床の間

4 モルタルそのものを床仕上げとする方法に  エ  仕上げがある。

- 【語 群】 1. 荒床 2. 金鰻 3. スレート

第27問 鉄骨構造と鋼材に関する次の記述の  部分に、それぞれの語群の中から最も適当なものを選んで、解答欄の番号にマークしなさい。

- 1 純ラーメン構造は柱と梁を  ア とし、ブレースを必要としないが、曲げモーメントが生じるため部材が太くなりやすく、経済的ではない。

【語 群】 1. 半剛接合 2. ピン接合 3. 剛接合

- 2 鋼材の普通ボルト接合では、ボルトとボルト穴との間の  イ によって微少なガタが生じることがある。

【語 群】 1. アーク 2. ヒンジ 3. クリアランス

- 3 鋼材は、一般的に  ウ ℃で強度が常温時の約半分となる。

【語 群】 1. 300 2. 500 3. 800

- 4 鉄骨構造の中層骨組で一般的に用いられている床の構造に、 エ スラブがある。

【語 群】 1. シェル 2. 合成 3. ジョイスト

第28問 壁の構法に関する次の記述の  部分に、それぞれの語群の中から最も適当なものを選んで、解答欄の番号にマークしなさい。

- 1 日本の伝統的な木構造に多く見られる、柱を露出する構造を  ア という。

【語 群】 1. 真壁 2. 大壁 3. 界壁

- 2 西洋の木構造に多く見られる、柱と梁の間に煉瓦や土などを積み込む構造を  イ という。

【語 群】 1. プラスター 2. ツーバイフォー 3. ハーフティンバー

- 3 下地に石こうボードを用いて塗装仕上げを行う場合、ボードの継ぎ目には  ウ を用いて目地を処理する。

【語 群】 1. プライマー 2. パテ 3. クリアミラー

- 4 鉄筋コンクリート構造の建物において、コンクリートを仕上げとすることを  エ という。

【語 群】 1. 打ち放し 2. テラゾー 3. びしょん

第29問 造作と造作材に関する次の記述の  部分に、下に記した語群の中から最も適当なものを選んで、解答欄の番号にマークしなさい。

住宅の一般的な幅木のサイズは高さが  ア mm 程度、厚さは天然木の場合  イ mm 程度である。

雑巾摺りは、幅木を付けない場所の床と壁の見切りとして付けるもので、見え掛かりが  ウ mm 角程度の木材が一般的である。

ダブルのカーテンの場合、カーテンボックスの内法の幅は  エ mm が目安とされる。

- |        |          |            |            |
|--------|----------|------------|------------|
| 【アの語群】 | 1. 30～50 | 2. 60～100  | 3. 120～180 |
| 【イの語群】 | 1. 3～9   | 2. 15～24   | 3. 30～60   |
| 【ウの語群】 | 1. 15    | 2. 25      | 3. 35      |
| 【エの語群】 | 1. 60～80 | 2. 120～140 | 3. 180～200 |

第30問 床の間にに関する次の記述の  部分に、それぞれの語群の中から最も適当なものを選んで、解答欄の番号にマークしなさい。

1 床の間に接する部分の畳の縁と天井の竿縁の方向は、床の間に対して  ア にするのが一般的である。

【語 群】 1. 共に平行 2. 共に直角 3. 前者は直角、後者は平行

2 床の間脇の縁側沿いにある  イ は暗くなりがちな床の間に採光する役割があった。

【語 群】 1. 吊り床 2. 野縁 3. 付書院

3 落とし掛けは、一般に長押や鴨居  ウ 位置に取り付けられる。

【語 群】 1. より低い 2. と同じ高さ 3. より高い

4 床脇は上部に天袋、下部に地袋、その中間に  エ を設けるのが一般的である。

【語 群】 1. 違い棚 2. 無目 3. 下げ束

第31問 木質系材料に関する次の記述の  部分に、下に記した語群の中から最も適当なものを選んで、解答欄の番号にマークしなさい。

木質系材料とは、原料である木材を薄板や小片にして接着材を用いて再構成した二次加工製品のことであり、一般的に、製材品に比べて  ア 。このうち、集成材は挽き板や  イ  を繊維方向に重ね合わせた木質系材料である。集成材には、用途に応じて構造用と化粧用があり、化粧用では見た目を重視して表面に1mm厚程度の  ウ  を張り付けるものがある。集成材の縦継ぎには  エ  などが使われる。

- 【アの語群】
1. 伸縮や狂いが大きい
  2. 寸法、形態の自由度が低い
  3. 強度性能が均質である

- 【イの語群】
1. 小角材
  2. 正角材
  3. 平角材

- 【ウの語群】
1. せき板
  2. 突き板
  3. 縁甲板

- 【エの語群】
1. 平矧ぎ
  2. スカーフジョイント
  3. 腰かけ蟻継ぎ

第32問 木材の性質に関する次の記述の  部分に、下に記した語群の中から最も適当なものを選んで、解答欄の番号にマークしなさい。

伐採された木材を乾燥すると、水分が蒸発し、最終的に大気中の湿度と平衡状態に達する。この状態を  ア  といい、そのときの含水率は約  イ  %である。この状態まで乾燥させて加工すれば、反り、曲がり、ねじれなどの変形を少なくできる。

木材の収縮率は方向によって異なる。三方向のうち、 ウ  の収縮は非常に小さいが、他の二方向は無視できないほど大きい。このため、床柱などは背割りを行い、割れを生じにくくする。また、柱を立てる軸組構法ではあまり問題が生じないが、木材を水平に積み重ねる  エ  構法の壁では、窓枠の取り付けなどにおいて材の収縮に注意する。

- 【アの語群】
1. 気乾状態
  2. 全乾状態
  3. 生材状態

- 【イの語群】
1. 15
  2. 30
  3. 45

- 【ウの語群】
1. 繊維の長さ方向
  2. 年輪の半径方向
  3. 年輪の接線方向

- 【エの語群】
1. 丸太組
  2. ツーバイフォー
  3. 木質系プレハブ



第33問 サッシに関する次の記述の   部分に、下に記した語群の中から最も適当なものを選んで、解答欄の番号にマークしなさい。

省エネルギーが建築物の重要な課題として捉えられるようになるのに伴い、外部建具の断熱性能や ア に対する関心が高まっている。一般的なアルミサッシ窓は、イ の高いアルミをフレームにするので、断熱性能を上げるために窓ガラスを ウ にしてもフレームには結露が生じる。これに対して、エ は、フレームを内側と外側の2重構造にし、間にゴムパッキンなどを入れて結露防止などの性能を高めている。

- |        |          |           |          |
|--------|----------|-----------|----------|
| 【アの語群】 | 1. 防犯性能  | 2. 気密性能   | 3. 防火性能  |
| 【イの語群】 | 1. 比重    | 2. 熱伝導率   | 3. 透湿抵抗  |
| 【ウの語群】 | 1. 防犯ガラス | 2. 合わせガラス | 3. 複層ガラス |
| 【エの語群】 | 1. 樹脂サッシ | 2. 二重サッシ  | 3. 断熱サッシ |

第34問 ビニル床シートに関する次のア～エの記述に対して、それぞれの下に記した語群の中から最も適当なものを選んで、解答欄の番号にマークしなさい。

ア ビニル床シートの特徴

- 【語 群】 1. 耐水性が高い      2. 熱に強い      3. 掃除がしにくい

イ ビニル床シートの代表的な幅寸法

- 【語 群】 1. 500～600mm      2. 1800～2000mm      3. 2500～3000mm

ウ クッションフロアシートの特徴

- 【語 群】 1. 表面のテクスチャー加工ができない  
2. 重量物を置くとへこみができる  
3. 厚さ1.8mmのものは主に店舗に利用される

エ 長尺ビニル床シートの特徴

- 【語 群】 1. 耐薬品性が低い  
2. 中間に発泡層がある  
3. 溶接が可能

第35問 建築物の基礎に関する次の記述の  部分に、下に記した語群の中から最も適当なものを選んで、解答欄の番号にマークしなさい。

基礎の形式は、木造住宅では布基礎や  ア が一般的である。布基礎を用いる場合は、基礎の底面に  イ をつけることが多い。また、床下の換気のために土台と基礎の間に  ウ を入れるものを  エ という。

- |        |          |          |            |
|--------|----------|----------|------------|
| 【アの語群】 | 1. 独立基礎  | 2. 杭基礎   | 3. ベタ基礎    |
| 【イの語群】 | 1. フーチング | 2. インサート | 3. ベースプレート |
| 【ウの語群】 | 1. ガラリー  | 2. パッキン  | 3. ジベル     |
| 【エの語群】 | 1. 火打ち土台 | 2. ネコ土台  | 3. 側土台     |

第36問 建築物の地震対策に関する次の記述の  部分に、それぞれの語群の中から最も適当なものを選んで、解答欄の番号にマークしなさい。

- 1 超高層建築物において固有振動数と一致しやすい  ア 地震動は、大きな揺れが続くことがある。

【語 群】 1. 短周期      2. 中周期      3. 長周期

- 2 木造住宅の外周部、および内部の主要な間仕切り壁下部の基礎は鉄筋コンクリート造とし、土台と  イ で緊結する。

【語 群】 1. アンカーボルト  
2. ハイテンションボルト  
3. グレモンボルト

- 3 木造住宅の2階床組の剛性を高めて地震による水平力を耐力壁に有効に伝達させるため、隅角部に  ウ を入れるか、床に構造用合板を張りつめる。

【語 群】 1. 火打ち梁      2. ろく梁      3. 敷き梁

- 4 建物を積層ゴムなどの上に載せた構造とすることで、地震の揺れが建物に伝わりにくくするものを  エ 構造と呼ぶ。

【語 群】 1. 免震      2. 耐震      3. 制震

第37問 熱環境に関する次の記述の  部分に、それぞれの語群の中から最も適当なものを選んで、解答欄の番号にマークしなさい。

1 固体内部を熱が移動する現象を  ア  という。

【語 群】 1. 放射 2. 対流 3. 伝導

2 窓付近で冷やされた冷気が降下する現象を  イ  という。

【語 群】 1. 隙間風 2. ダウンドラフト 3. コールドドラフト

3 壁と空気など固体と流体間での熱の伝わりやすさを表す値を  ウ  という。

【語 群】 1. 熱貫流率 2. 熱伝達率 3. 放射率

4 西側壁面にある窓の日射遮蔽効果が最も少ないのは、 エ  である。

【語 群】 1. バーチカルブラインド  
2. 庇  
3. ベネシャンブラインド

第38問 音環境に関する次の記述の  部分に、それぞれの語群の中から最も適当なものを選んで、解答欄の番号にマークしなさい。

1 吸音材料には、 ア  材料がよく使われている。これは、音が材料内部を通過する際、摩擦によってエネルギーを吸収するもので、一般に高周波音の吸収率が高い。

【語 群】 1. 板状 2. 多孔質 3. コンクリート系

2 点音源では、 イ  は音源の距離の二乗に反比例して減少する。

【語 群】 1. 音の高さ 2. 音の強さ 3. 音の速さ

3 音が壁に当たると、その一部は反射され、残りは吸収または透過する。壁の吸音率  $\alpha$  は、 $\alpha =$   ウ  で表される。

【語 群】 1. 吸収音エネルギー / 入射音エネルギー  
2. 反射音エネルギー / 入射音エネルギー  
3. (吸収音エネルギー + 透過音エネルギー) / 入射音エネルギー

4 可聴音域とは、聞き取ることのできる周波数の範囲のことであり、多くの人が  エ  Hz の範囲である。

【語 群】 1. 10～1000 2. 20～20000 3. 100～20000

第39問 換気設備に関する次のア～エの記述に対して、それぞれの下に記した語群の中から最も適当なものを選んで、解答欄の番号にマークしなさい。

ア 換気設備の運転によって、室内圧が必ず正圧となる機械換気設備

【語 群】 1. 第一種換気設備 2. 第二種換気設備 3. 第三種換気設備

イ 建築基準法により、住宅の居室に設置が義務付けられている機械換気設備（いわゆる24時間換気システム）の換気回数（回／h）の下限

【語 群】 1. 0.1 2. 0.3 3. 0.5

ウ 屋外に面していない壁に深型レンジフードを設置する場合には適していないファン

【語 群】 1. シロッコファン 2. ターボファン 3. プロペラファン

エ 浴室の換気などに一般に用いられる換気方式

【語 群】 1. 全般換気 2. 置換換気 3. 局所換気

第40問 照明に関する次の記述の  部分に、それぞれの語群の中から最も適当なものを選んで、解答欄の番号にマークしなさい。

1 勉強、読書などに使用する100V用卓上スタンドは、JISによって机上面の  ア が規定されている。

【語 群】 1. 光度 2. 照度 3. 光膜反射グレア

2 ある特定場所の直接照度を計算するには、 イ が用いられる。鉛直面配光曲線データから計算するため器具灯数が多いと計算作業が大変だが、最近は照度計算ソフトが用意されている。

【語 群】 1. 光束法 2. 平均照度算出法 3. 逐点法

3 昼光色のシーリングライトによる照明は、例えば住まいの居室の明るさを平均50lx程度にするとう一般的には  ウ 雰囲気になる。

【語 群】 1. 暑苦しい 2. 暗く冷たい 3. 快適な

4 折り上げ天井の中に光源を隠して、明るいつ仕上げの天井面を広く照らす  エ 照明は間接光が目優しい。

【語 群】 1. コーニス 2. コーブ 3. ダウンライト



第41問 換気・空調設備に関する次の記述の  部分に、それぞれの語群の中から最も適当なものを選んで、解答欄の番号にマークしなさい。

- 1 暖房負荷は、室内の熱が、壁、窓ガラス、屋根、床を通過して失われる熱量、すき間風等によって失われる熱量の影響を受けるが、 ア の影響は考慮しなくてもよい。

【語 群】 1. 人体負荷 2. 換気負荷 3. 貫流負荷

- 2 セパレート型エアコンの冷媒配管中にあるものは  イ である。

【語 群】 1. 液管 2. ドレン管 3. ガス管

- 3 暖房時の部屋の上下温度差は、対流暖房方式で5～6℃程度となるが、 ウ などの放射暖房方式では上下温度差は少なくなる。

【語 群】 1. ホットカーペット 2. ファンヒーター 3. エアコン

- 4 燃焼用空気を室内から取り入れ、汚れた空気（排ガス）を屋外に出す燃焼器具は  エ と呼ばれる。

【語 群】 1. 開放型燃焼器具 2. 密閉型燃焼器具 3. 半密閉型燃焼器具

第42問 給湯設備に関する次のア～エの記述に対して、それぞれの下に記した語群の中から最も適当なものを選んで、解答欄の番号にマークしなさい。

- ア 従来捨てていた排気ガス中の熱を二次熱交換器で回収する省エネルギー型給湯機器

【語 群】 1. エネファーム 2. エコキュート 3. エコジョーズ

- イ 水素と酸素を電気化学反応させて電気と熱を発生する電池

【語 群】 1. 燃料電池 2. 全固体電池 3. 太陽電池

- ウ 天然ガス等を燃料として発電し、その際に生じる熱も同時に回収するシステムの総称

【語 群】 1. コージェネレーション  
2. ハイブリッド  
3. カーボンニュートラル

- エ シングル湯水混合水栓（左右操作タイプ）で給湯温度が最大となるレバーの先端の位置

【語 群】 1. 左端 2. 中央 3. 右端

第43問 光環境に関する次の記述の  部分に、それぞれの語群の中から最も適切なものを選んで、解答欄の番号にマークしなさい。

1 光源から放射された視覚上の光の量を光束といい、その単位は  ア  である。

【語 群】 1. カンデラ 2. ルクス 3. ルーメン

2 部屋の明るさを同一にできる二つの光源である LED 電球と蛍光灯を比べると、光っている部分の面積の小さな LED 電球の方が  イ  が高い。

【語 群】 1. 輝度 2. 直接照度 3. 間接照度

3 事務所や学校の教室の照明は、 ウ  ができるだけ高い方がよい。

【語 群】 1. 色温度 2. 均せい度 3. 光度

4 明るい戸外から室内に入った時、急に暗くなったと感じる建物の場合は  エ  を考慮した照明とする。

【語 群】 1. プルキンエ現象 2. 明順応 3. 暗順応

第44問 電気設備に関する次の記述の  部分に、それぞれの語群の中から最も適切なものを選んで、解答欄の番号にマークしなさい。

1 引込み点から盤類までの電路を幹線といい、その途中に電気の使用量を計るための  ア  が取り付けられる。

【語 群】 1. アンペアブレーカー 2. 電力量計 3. 電流計

2 湿気の多い場所や水気のある場所に設置する洗濯機などの機器は、感電を防ぐため、 イ  工事を施した端子と接続する必要がある。

【語 群】 1. 熱絶縁 2. 防水 3. アース

3 新築の場合は、キッチンなど200V機器の使用が想定される所に200V専用の  ウ  を設けておくことである。

【語 群】 1. プラグ 2. コンセント 3. トランス

4 戸建て住宅では、幹線と末端器具の間に  エ  が設置される。これには標準的な仕様のほかに太陽光発電対応やオール電化対応などの高機能タイプもある。

【語 群】 1. 配電盤 2. 分電盤 3. 動力制御盤

第45問 住宅設備機器に関する次のア～エの記述に対して、それぞれの下に記した語群の中から最も適切なものを選んで、解答欄の番号にマークしなさい。

ア 合併処理浄化槽で処理させてはいけない排水

【語 群】 1. 雨水 2. 汚水 3. 雑排水

イ システムキッチンのワークトップに用いられるステンレスの材質

【語 群】 1. SUS304 2. SUS403 3. SUS430

ウ JIS で決められているワークトップの高さの種類

【語 群】 1. 2種類 2. 3種類 3. 4種類

エ 関東間の本造戸建て住宅に適した一坪タイプのユニットバス（システムバス）の規格サイズ名

【語 群】 1. 1216 2. 1616 3. 1620

第46問 インテリアコーディネーターが行う顧客との打ち合わせに関する次の記述の  部分に、下に記した語群の中から最も適切なものを選んで、解答欄の番号にマークしなさい。

顧客の要望に沿った具体的な提案作業で、カタログ写真やパースなどを使いながら、内容をわかりやすく整理して表現したものを  ア という。(ア)を作成する上で、ボードのデザインにおいては、 イ も効果的である。(ア)は、複数のボードから構成されるが、その中でプランニングの柱となる考え方をシンプルにまとめたものが  ウ で、また、仕上げ材のサンプルを添付して全体のイメージを確認できる  エ を作成することもある。

【アの語群】 1. プレゼンテーションボード

2. コンテボード

3. フロッタージュボード

【イの語群】 1. インテリアスタイルに調和させること

2. 文字サイズをすべて同じにすること

3. できるだけ多くの情報を盛り込むこと

【ウの語群】 1. フロアプランボード

2. エレメントボード

3. コンセプトボード

【エの語群】 1. ポートフォリオボード

2. エスキスボード

3. カラースキームボード

第47問 建築設計図書に関する次の記述の  部分に、それぞれの語群の中から最も  
適当なものを選んで、解答欄の番号にマークしなさい。

- 1 木造軸組構法の住宅のリフォーム計画にあたって、既存建物の根太の方向を知るには建築設計図書の  ア  を参考にするが良い。

【語 群】 1. 床伏図 2. 軸組図 3. 断面図

- 2 建築設計図書は、わかりやすく表現するために簡略化された記号を用いる。建具表に用いる略記号のSDは、  イ  を指す。(図1)

【語 群】 1. 鋼製ドア  
2. 障子  
3. 襖



図 1

- 3 建具表に図のように表現された建具名称は、  ウ  である。(図2)

【語 群】 1. 片開き戸  
2. 引違い戸  
3. 折れ戸

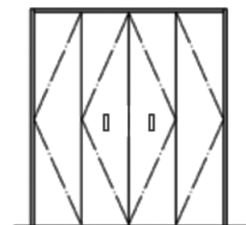


図 2

- 4 電気設備図に図のような記号で表されているのは、  エ  である。(図3)

【語 群】 1. 空調専用コンセント  
2. アース付コンセント  
3. 防雨型コンセント



図 3



第48問 リフォーム工事の法令に関する次の記述の  部分に、それぞれの語群の中から最も適当なものを選んで、解答欄の番号にマークしなさい。

1 建築基準法令において、 ア  は建築確認申請が必要である。

- 【語 群】
1. 延べ面積250m<sup>2</sup>の事務所ビルから共同住宅への用途変更
  2. 共同住宅の主要構造部を含まない改修工事
  3. 防火、準防火地域以外で床面積10m<sup>2</sup>の増改築

2 既存の壁や天井を撤去する際、現在では  イ  により禁止されているアスベストが断熱材として使われている場合がある。解体前の事前調査、必要に応じた届出など法令順守にも注意が必要である。

- 【語 群】
1. エネルギーの使用の合理化等に関する法律施行令
  2. 労働安全衛生法施行令
  3. 環境基本法

3 住宅の増改築において、増改築部分と既存部分の間が壁もしくは通気措置のない建具などで仕切られている場合は、 ウ  がシックハウス対策の対象となる。

- 【語 群】
1. 増改築部分と既存部分の両方
  2. 増改築部分のみ
  3. 既存部分のみ

4 建築基準法上内装制限がかかる建築物を改修する場合、 エ  はその対象となる。

- 【語 群】
1. 天井
  2. 床
  3. 回り縁

第49問 インテリア関連商品に付されるマークに関する次の記述の  部分に、それぞれの語群の中から最も適当なものを選んで、解答欄の番号にマークしなさい。

- 1 一般財団法人ベターリビングが実施する「BL マーク」は品質、性能、アフターサービスに優れていると認定された  ア  に表示される。

【語 群】 1. 塗料 2. 寝具 3. 住宅部品

- 2 高層マンションで使用するカーテンなどは、 イ  により防災規制が定められているため、「防災ラベル」の付いた防災物品でなければならない。

【語 群】 1. 産業標準化法 2. 消防法 3. 建築基準法

- 3 一般財団法人製品安全協会の安全基準に適合した製品に付されるものを「SG マーク」という。このマークが付いた製品の欠陥によって人的損害が生じた場合には  ウ  が行われる。

【語 群】 1. 瑕疵保証 2. 賠償措置 3. 製造中止措置

- 4 消費生活用製品安全法に基づいて、PSC マークが表示されている製品のうち、 エ  は特別特定製品に指定されている。

【語 群】 1. ロフトベッド 2. 家庭用圧力なべ 3. 乳幼児用ベッド

第50問 建築基準法令等に関する次の記述の  部分に、それぞれの語群の中から最も適当なものを選んで、解答欄の番号にマークしなさい。

- 1 2階建ての住宅に小屋裏物置（収納）をつくる場合、その水平投影面積が2階の床面積の1/2未満で、かつ、最高部の天井高さが  ア  m以下であれば、この住宅は3階建てとはみなされない。

【語 群】 1. 1.4 2. 1.6 3. 1.8

- 2 住宅の階段においても、高さが  イ  mを超える場合は、中間に高さ（イ）m以内ごとに踊場を設けなければならない。

【語 群】 1. 3 2. 4 3. 5

- 3 用語の定義において、「建築」とは、建築物を新築し、増築し、改築し、または  ウ  することをいう。

【語 群】 1. 修理 2. 改装 3. 移転

- 4 火災による被害を最小限にするために、隣地境界線、前面道路の中心線などから、一定以上入った部分を  エ  のおそれのある部分とし、窓や外壁などの防火対策を義務付けている。

【語 群】 1. 焼失 2. 類焼 3. 延焼